

2月 月間指導計画 3歳児



保育目標		進級に向けてひとりひとりの課題を見出し、自分のイメージする年中児を目指そうとする。 節分の豆まきを異年齢児と楽しむ。			
子どもの姿		正月遊びを通して、友だちと一緒に遊ぶことを楽しんでいる。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	自分のイメージする年中児を目指し、様々なことに意欲的に取り組む。	「かっこいい年中さん」をテーマに話し合う機会をつくる。	自分のイメージした年中児の姿から、憧れと期待の気持ちを持っている。	ひとりひとりの課題を明確にし、言葉がけによって何でもやってみようとする気持ちを育て、見守る。
	情緒	ひとりひとりが自分から好きな遊びを見つけ、落ち着いて過ごす。	子どもたちの興味・関心に合わせてコーナー遊びを用意する。	コーナー遊びや自由遊びの際に、自分から好きな遊びを選択して遊んでいる。	いつも同じ場所に玩具を片付けておくことで、安心して遊びこめるよう配慮する。
教育	健康	保育士の補助により、前転に取り組もうとする。	前転を行う時の頭の付く位置を、子どもたちと確認しておく。	保育士の補助により、前転をやってみようとする。	首に気をつけながら、改めて補助の仕方を保育士間で確認しておく。
	人間関係	遊びの中でルールや順番を守ることを知ろうとする。	しっぽ取りや鬼ごっこなど、簡単なルールを確認して遊ぶ。	友だちとルールを確認しながら遊ぼうとする。	子どもたちのアイデアを生かしたルールを取り入れるなど、場に応じて対応する。
	環境	節分の豆まきを異年齢児と楽しむ。	おめんやマスを準備し、豆まきを楽しめるようにする。	鬼へ豆を投げ、楽しんでいる。 友だちと一緒にやることで、鬼に立ち向かおうとする。	少し興奮気味の子もいるので、午睡時にはオルゴールの曲を流して、落ち着いて入眠できるようにする。
	言語	絵本や紙芝居の場面を遊びに取り入れようとする。	絵本を読み、繰り返しの言葉の掛け合いをして、共通のイメージを持てるようにする。	友だちと誘い合って絵本のイメージを再現した遊びをしている。	イメージが膨らみやすいよう、遊びに必要な小道具など用意しておく。
	表現	節分のおめんやマス作りわを楽しむ。	鬼が出てくる絵本など用意しておき、自分だけの表現する鬼を作れるようにする。	絵本を見て、様々な色の鬼がいることを知り、思い思いに作ろうとしている。	出来た作品を飾り、それぞれの表現をお互いに認め合えるような言葉をかける。
食育	節分の由来を聞き、歳の数だけ豆を食べることを知る。	豆を落ち着いて食べられるよう、個包装にして自宅に持ち帰ることを、おたより等で知らせしておく。	豆を食べることを心待ちにしている。	豆による事故を防ぐため、食べる際は必ず目を離さないよう呼びかけておく。	
健康・安全		自分で出来た喜びを味わえるよう、防寒着は動きやすく脱ぎ着のしやすい物の準備をお願いします。			
保護者支援		節分の豆の持ち帰りについて、事前におたより等で知らせ、豆による事故のないようにする。			